大会特別競技規則

- 1 ベンチは、抽選番号の若い方を一塁側とする。
- 2 メンバーの変更は大会初日まで認める。ただし、緊急のものとみなし校長の理由書をつけること。
- 3 競技場の塁間の距離は、27.432mとし、投捕間の距離は、18.44mとする。
- 4 使用球は、（公財）全日本軟式野球連盟公認M号球とする。
- 5 審判は4人制とし、審判員は主催者が委嘱する。
- 6 試合中の規則上の異議申し立てに対する裁定は、当該試合の審判員および控え審判員において決定する。
- 7 本大会はトーナメント方式7回戦とする。ただし、試合続行不可能の場合は、5回（4回1/2も可）をもって正式試合とみなす。
- 8 5回（4回1/2）以降、7点差以上の差がある時はコールドゲームを適用する。
- 9 秋季全県大会において、タイブレークを適用する。延長戦はなしとし、7回終了時に同点の場合に適用する。（決勝戦も同様）
- 10 公認野球競技規則、5・10（d）原注（投手は一イニングで投手以外の守備に二度以上つくことは、ゆるされない。）及び5・10（l）原注（一イニングに投手へのアドバイスのためのタイムが2回とられた場合、自動的に投手の交代となる。）は適用しない。
- 11 再試合またはノーゲームになった場合、試合順序および会場は主催者側が決定する。
- 12 地区大会においては、各地区の大会実施要項にしたがって競技を行う。